

2024年度版 環境経営レポート

有限会社ニイサトエコー

- 1 環境経営方針
- 2 事業活動の規模 処理工程図
- 3 E A 2 1 推進体制
- 4 環境目標とその実績
- 5 環境活動の取組と評価
- 6 環境関連法規制の遵守状況
- 7 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

2023年5月1日 - 2024年4月30日

2024年9月1日発行

1 環境経営方針

当社は、収集運搬や中間処理で扱う廃棄物を通して、ゴミと資源、環境について考え、地域社会とつながっていきたいと思います。

また、日々の事業活動が与える影響が環境と深く関わっているということを一人一人が認識し、行動へ移していくことが重要であると考えます。

会社全体で環境への負担を減らし、循環型社会の実現のため継続的に貢献することを誓約します。

「基本方針」

- 1 二酸化炭素排出量削減のため、使用電力、化石燃料の使用削減に努めます
- 2 事業活動で発生する廃棄物の抑制と再使用、有価物としてのリサイクルに努めます
- 3 水資源と排水量の削減のため 節水に努めます
- 4 エコドライブを徹底し 環境、車両にやさしい運転に努めます
- 5 地域社会の一員として会社内外の環境美化に努めます
- 6 事業活動に関わる環境関連の法規・条例 その他の事項を遵守します
- 7 環境教育の実施など従業員に環境方針を周知し知識の向上を図り関係会社へも理解と協力を働きかけます

この環境方針は社外へ公表します

2023 年 5月1日 有限会社ニイサトエコー 代表取締役 小林 努

2 事業活動の規模

1 事業者名及び代表者氏名

有限会社ニイサトエコー 代表取締役 小林 努

本社 〒376 - 0132 群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷300番地1

車庫・休憩所 〒376 - 0121 群馬県桐生市新里町新川1172番地16

太田営業所 〒373 - 0073 群馬県太田市大原町503-9

2 法人設立年月日

2004年5月17日 資本金 300万円

3 売上高

2023年度 165,896千円

4 対象範囲

全組織、全活動を対象とする

5 許可の内容

産業廃棄物処分量

許可番号	群馬県 01020114246
許可年月日	令和4年9月15日 — 令和9年9月14日
事業の区分	中間処理（選別・破碎） 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず
設置場所	群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷字上鶴ヶ谷300番1の一部
設置年月日	平成29年7月3日
最大処理能力	選別 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず[160m ³ /日] 破碎 廃プラスチック類[4.48t /日] 紙くず[7.2 t /日] 木くず[4.4 t /日] 繊維くず[3.84t /日]
保管場所	群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷字上鶴ヶ谷300番1の一部
保管能力	保管面積 97.5m ² 保管容量 135m ³

産業廃棄物収集運搬業

群馬県 01000114246	令和元年10月18日 令和6年10月17日	燃え殻、廃プラスチック類（*）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず（*）、がれき類（*）、ばいじん（* については石綿含有産業廃棄物を含む） 以上9種類
--------------------	--------------------------	---

埼玉県 01106114246	令和2年 7月 8日 令和7年 7月 7日	燃え殻、廃プラスチック類（*）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず（*）、がれき類（*）、ばいじん（*）については石綿含有産業廃棄物を含む） 以上10種類
栃木県 00900114246	令和2年 6月 7日 令和7年 6月 6日	燃え殻、廃プラスチック類（*）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず（*）、がれき類（*）（*については石綿含有産業廃棄物を含む） 以上8種類
新潟県 01509114246	令和2年 7月22日 令和7年 7月21日	燃え殻、廃プラスチック類（*）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず（*）、がれき類（*）、ばいじん（*）については石綿含有産業廃棄物を含む） 以上9種類

一般廃棄物収集運搬業

桐生市	桐生市第78号	令和6年 4月 1日 - 令和8年 3月31日
笠懸町（みどり市）	許可第49号	令和6年 4月 1日 - 令和8年 3月31日
太田市	許可番号77	令和6年 4月 1日 - 令和8年 3月31日
伊勢崎市	許可番号83	令和6年 4月 1日 - 令和8年 3月31日
前橋市	許可(清業)第240号	令和6年 8月 29日 - 令和8年 8月28日
古物商	第421140083500号	平成27年 8月 3日

6 施設等の状況 運搬車両

- ・アームロール 10 t 車 1台 ・塵芥車 8 t 車 4台 ・キャブオーバー 3台
- ・アームロール 4 t 車 1台 ・塵芥車 4 t 車 9台 ・ピックアップ 1台

7 処理実績

	産業廃棄物	一般廃棄物
中間処理量	2,585 t	—
収集運搬量	982.56 t	8,454.75 t
軽油使用量	47,977 ℓ	

8 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 小林 努

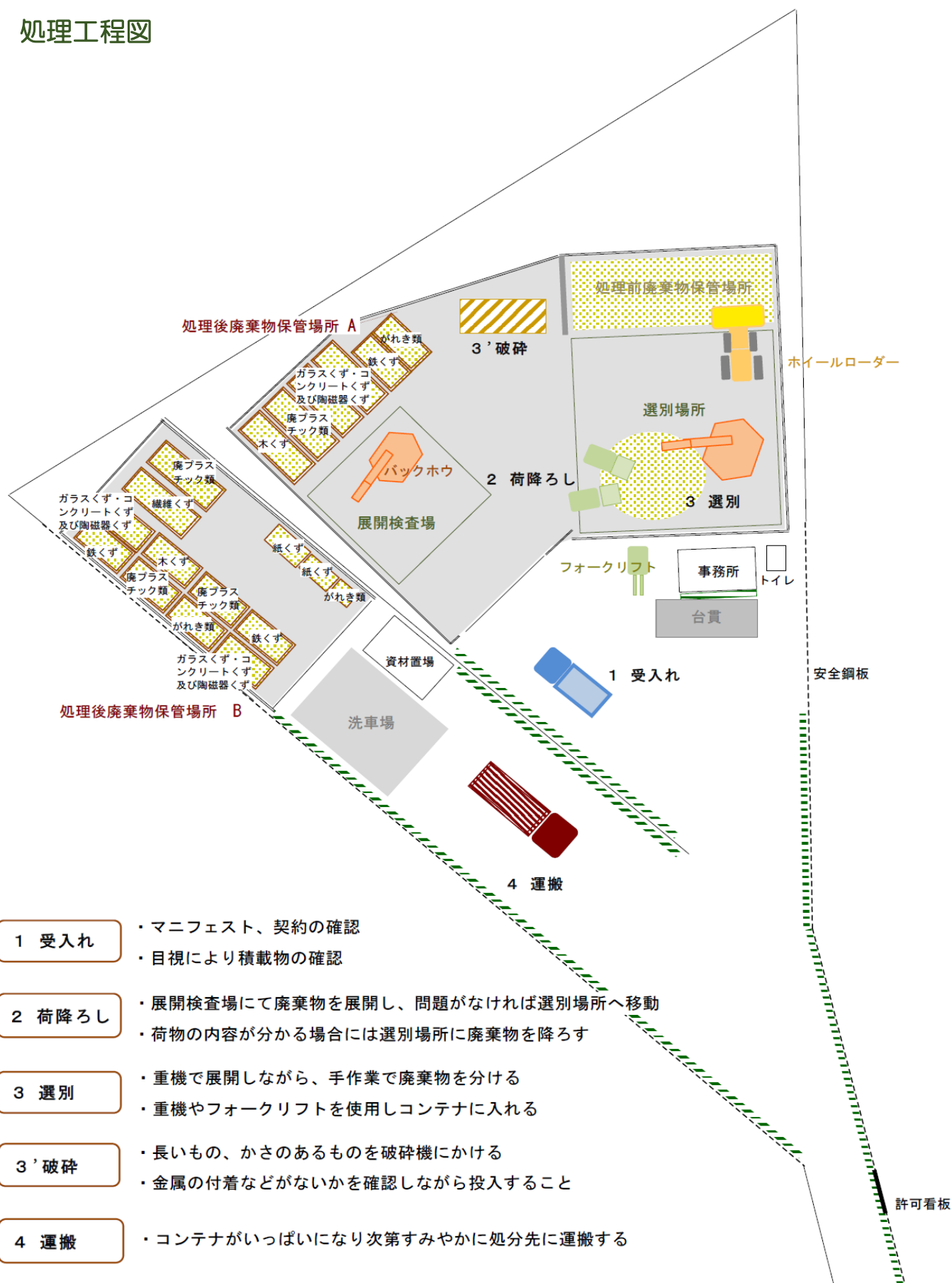
環境管理責任者 板谷 修子

EA21推進事務局 TEL 0277 (74) 3763 FAX 0277 (74) 3751

9 事業の内容

産業廃棄物処分業、産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬、古物商

処理工程図



1 受入れ

- ・ マニフェスト、契約の確認
- ・ 目視により積載物の確認

2 荷降ろし

- ・ 展開検査場にて廃棄物を展開し、問題がなければ選別場所へ移動
- ・ 荷物の内容が分かる場合には選別場所に廃棄物を降ろす

3 選別

- ・ 重機で展開しながら、手作業で廃棄物を分ける
- ・ 重機やフォークリフトを使用しコンテナに入れる

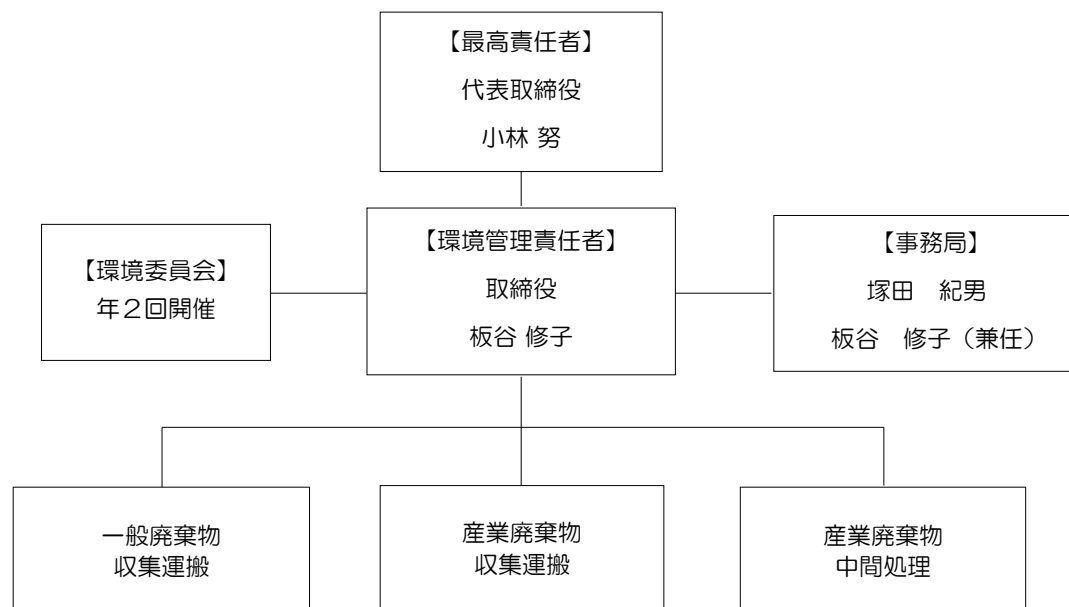
3' 破碎

- ・ 長いもの、かさのあるものを破碎機にかける
- ・ 金属の付着などがいないかを確認しながら投入すること

4 運搬

- ・ コンテナがいっぱいになり次第すみやかに処分先に運搬する

3 EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	代表取締役 小林 努 1 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 2 エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術技能を含む）を準備する。 3 環境方針を制定する。 4 エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。 5 当社の経営における課題とチャンスを確認にする。
環境管理責任者	環境管理責任者 板谷 修子 1 エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 2 エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	塚田 紀男 板谷 修子 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、年2回環境管理責任者が召集する。 環境目標の設定、環境活動計画の策定について協議する。 環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。開催後に最高責任者に報告する。

4 環境目標とその実績

当社に於ける2020年度の(2020/5/1～2021/4/30) 環境負荷実績を把握し2025年度までの目標を下記のとおり定め活動を開始した。

主要な環境目標と環境負荷・実績

管理実施項目	基準年 2020年	2023年		
	実績値	目標値	実績値	達成状況
1. 二酸化炭素排出量の削減				
産業廃棄物収集運搬量 当たりの軽油使用量の削減 ℓ / m^3 (収集運搬量)	40.45	39.24 20年度実績値 に対し3%減	38.21	○ 20年度目標値 に対し3%減
二酸化炭素排出量 kg - co2	129,739	現状維持	129,557	○ 20年度実績値 に対し1%減
2. 廃棄物の削減				
売上高100万円当たりの 一般廃棄物排出量の削減 kg / 売上 (百万円)	8.49	8.24 20年度実績値 に対し3%減	8.8	× 20年度目標値 に対し6%増
3. 水資源投入量の把握				
水資源使用量	40	現状把握	82	—
4. 産業廃棄物処理施設での取組				
産業廃棄物許可施設	—	中間処理後の 再資源化率を 95%以上とする	再資源化率 約97.8%	○

管理実施項目	2024年	2025年
	目標値	目標値
1. 二酸化炭素排出量の削減		
産業廃棄物収集運搬量 当たりの軽油使用量の削減 ℓ / m^3 (収集運搬量)	38.83 20年度目標値 に対し4%減	38.43 20年度目標値 に対し5%減
二酸化炭素排出量 kg - co2	削減に努め現状維持	
2. 廃棄物の削減		
売上高100万円当たりの 一般廃棄物排出量の削減 kg / 売上 (百万円)	8.15 20年度実績値 に対し4%減	7.99 20年度目標値 に対し5%減
3. 水資源投入量の把握	節水に努める	
水資源使用量		
4. 産業廃棄物処理施設での取組	中間処理後の再資源化率を95%以上とする	
産業廃棄物許可施設		



産業廃棄物保管施設のソーラーパネル

* ここで用いた二酸化炭素排出係数は (株)ウエスト電力 (5 - 6月) 2019年調整後排出係数 0.429kg - co2
東京電力パワーグリッド(株) (7月～) 2019年調整後排出係数 0.441kg - co2です。

* 化学物質は使用しておりません。

5 環境活動の取組と評価

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ① エアコン清掃の実施 ② 燃費の比較 ③ エコドライブの監視 ④ 社用車の点検・整備記録の確認 ⑤ 電力量削減の継続	産業廃棄物収集運搬に関しては20年度に設定した目標値に対し3%の削減となった。二酸化炭素排出量も20年度実績値に対し1%の削減となった。 年々暑さは増してきてエアコンの使用は増えていくはずなのでフィルターの清掃をこまめに行って適切な使用を心掛けたい。
	次年度の取り組み内容
	エコドライブの継続、高圧電力使用の際のピークカットを続けて削減に取り組んでいく。
2. 廃棄物の削減 ① 廃棄物置場の整備 ② 裏紙使用ルール・雑紙リサイクルの徹底	可燃ごみが増え、目標達成にならなかった。 備品購入の際には環境負荷の少ない商品の購入を検討したり、発生抑制になるよう意識していきたい。 受信FAXはPCで内容を確認してから出力したり、裏紙の使用で発生抑制ができています。
	次年度の取り組み内容
	グリーン購入等、改めて会社の備品の購入の際には意識を高めていけるようにしたい。
3. 水資源投入量の把握 ① 節水表示 ② 車輦洗車の際の水使用時の節水	プラントでの水使用量は増加になった。散水することで粉塵を抑えたり火災予防にもなるため散水は必須だが、こまめな節水に努めていきたい。
	次年度の取り組み内容
	排水系統の清掃、水の循環利用についての知識の共有。
4. 産業廃棄物処理施設での取組 ① 産廃業者との委託契約書の確認 ② 分別の徹底 ③ 許可施設での設備の点検	プラント内の廃棄物が保管容量を超えないように管理の徹底。
	次年度の取り組み内容
	中間処理施設内の廃棄物保管場所の整理、整頓。

6 環境関連法規制の遵守状況

1 環境関連法規の遵守状況

環境関連法規の名称	当社の対応	遵守状況
自動車Nox・PM法	・埼玉県条例を遵守	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 廃棄物の処理及び掃除に関する法律施行規則 (産業廃棄物処分業) (産業廃棄物) (一般廃棄物)	・マニフェスト管理 ・産業廃棄物保管場所の整備 ・定期検査の実施 ・帳簿の記載	遵法
廃棄物の処理及び掃除に関する法律施行令	・許可証の更新 ・委託基準の遵守	遵法
貨物自動車運送事業法	・運行管理 ・事故の報告	遵法
消防法	・消防設備の定期点検	遵法
フロン排出抑制法	・重機の簡易点検	遵法
浄化槽法	・浄化槽の定期点検 ・法定11条検査	遵法

2 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

2023年9月3日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

7 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

EA21の取り組みを始めて16年になりました。環境について考え、活動することで社員一人一人の意識が少しでも向上してほしいと考えています。
弊社での主なエネルギー消費は軽油の使用、電力の使用です。エコドライブ、電力のピークカットを継続して行い目標達成に向けて活動していきます。そして廃棄物を扱う会社として地域を牽引していく存在でありたいと思っています。

